

アメリカ文学史を考える

英語教育講座 小林資忠

1. 授業内容

この授業は平成19年度後学期に学校教育
教員養成課程2回生に開講された講義であり、
受講生は英語教育専修2回生7名、教育学専
修2回生3名、教育心理学専修2回生1名、
4回生2名、社会科教育専修4回生1名、
技術教育専修3回生2名の16名であった。
今年アメリカの19世紀を理解してもら
うために、有益なビデオを8回視聴した。

本年も、英語教育専修生以外の学生が9名
受講しており、英語を読むことに習熟してい
ない受講生がみられたので、授業も最初はで
きるだけゆっくりと進め、内容を把握しても
らうように心がけた。

授業内容はアメリカという国の成立期から
始めて、20世紀の70～80年代あたりま
での文学を概観することになるが、各時代の
文学思潮や作家の生き方を知ると共に、プリ
ントとして前もって配布してある代表的な作
品の一部を講読し、それぞれの作品の特徴を
つかむことも重視した。この科目は、英語の
教育職員免許状取得のための必修科目となっ
ているので、テキストは英語で書かれた書物
を使用し、英語の読解力を高めることに加え
て、音声テープも利用し、英語の音声にも親
しんでもらうことにした。

2. 授業改善のためのアンケート

受講者へのアンケートは次の(1)～(5)
について実施した。後ろの()の中に人
数を示す。13名からの回答があった。

(1) 授業時間外の学習を行っているか。

- よく行っている (2)
- まあ行っている (9)
- あまり行っていない (2)
- まったく行っていない (0)

(2) 教員の話し方や説明のしかたは

- わかりやすいですか。
- 非常にわかりやすい (3)
- まあまあわかる (10)
- わかりにくい (0)
- まったくわからない (0)

(3) 教科書・プリント・黒板などの

- 使い方は効果的ですか。
- とても効果的だ (4)
- まあ効果的だ (8)
- あまり効果的でない (1)
- まったく効果的ではない (0)

(4) 質問の機会を与えられているか。

- 十分与えられている (6)
- 与えられている (7)
- あまり与えられていない (0)
- まったく与えられていない (0)

(5) 授業の目的は理解できましたか。

- 理解できた。 (8)
- まあ理解できた (5)
- あまり理解できない (0)
- まったく理解できない (0)

教室で自分の担当した箇所の内容を
他の受講生にわかりやすく説明する方
式を採用したが、もう少し徹底して取
り組むように指導したい。

